

複雑形状・高精度 鑄造強み

ニノミヤは、鑄物専門メーカーで売り上げの85%を自動車部品が占める。ターボチャージャー（過給器）や自動変速機（AT）用部品が主力だ。アイシン精機といったトヨタ自動車系大手部品メーカーや、三菱重工業を主要取引先としている。

ハイブリッド車（HV）向けの過給器など駆動系の重要部品を手がけるため、形状が複雑で高精度な鑄造技術を得意とする。特に10年ほど前から力を入れるのが、IoT（モノのインターネット）を活用した歩留まりや生産性の向上だ。溶かした鉄を投入する速度や温度、重量など製品ご

とデータの取得し、良品率や不良の傾向と合わせて不具合低減につなげている。2015年に原材料の鉄スクラップの計量や各種副資材の投入、溶解、鑄型への投入までを自動化。5月には

新しい鑄造機も導入して生産スピードを1.5倍に高めるなどの取り組みを進めている。現在は工程間の導線や製品の滞留状況などを見直し、生産ライン全体の最適化に着手。二宮英樹社長は「顧客の受注に合わせ

③ チェンジ 進化する 部品メーカー

ニノミヤ



検査工程では製品や作業時間、作業時間、検査結果などが見える化すると同時に、女性が働きやすい環境も整備

IoTで歩留まり改善

て工程速度を調整するなど、柔軟な生産に対応できるようにしたい」と力を込める。

一方、CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）への対応はこれらの課題だ。部品だけでなく、バッテリーケースの需要増で好調な鍛圧プレス機用部品など、電動化により需要が増えている設備領域を取り込む。このほか培ってきた技術力を活かして、建設機械など別分野への進出も検討する。二宮社長は「集中と選択で、複雑形状かつ高度な鑄造品がマッチする市場を狙う」と方針を説明する。

16年に完成した新社屋には女性専用の休憩スペースを設置。18年は全館空調化した検査工場を新設して作業環境を向上させるなど、女性活用にも力を入れている。「変化に対応するしかない」（二宮社長）。さらなる現場力の強化で乗り切る構えだ。

（火曜日に掲載）

● 企業概要 ●

▷所在地＝愛知県西尾市横手町川東新田17の1、0563・35・0551▷資本金＝2400万円▷売上高＝45億円（2019年9月期）▷従業員＝143人▷創業＝1946年（昭21）7月